

## 分析信頼性実務者レベル講習会

### —第 20 回金属分析技術セミナー—

主催 日本分析化学会 共催 日本鉄鋼協会

近年、鉄鋼をはじめとする金属分析に関する研究者・技術者は著しく減少しつつあります。金属分析技術で今後一番問題になるのは、従来熟練技能者が行っていた湿式化学分析分野の技術・技能の伝承です。これらの分析技術には長年の技術・技能・知識あるいはノウハウの蓄積が必須です。又、湿式化学分析は機器分析や物理分析の基準値、標準物質の認証値を決定する化学量論に基づいた分析値の提供という重要な役割を果たしています。このような金属分析の根幹をなす湿式化学分析技術は、今のままでは技術者・技能者がいなくなり、技術・技能伝承ができなくなります。現在、世界最高レベルにあるわが国の金属分析技術を次世代に継承することは我々の責務であると考えます。そこで本会の分析化学技術者教育企画委員会では、日本鉄鋼協会学会部門の評価・分析・解析部会と連携して、鉄鋼及び非鉄分野の分析技術者等を対象に、本セミナーを前回に引き続いて下記のように開催することになりました。奮ってご参加ください。

**日程** 受講申込締切 : 2019 年 9 月 17 日 (火) 必着厳守  
測定試料の配布 : 2019 年 10 月 1 日 (火) 送付予定  
分析結果の報告締切 : 2019 年 10 月 31 日 (木) 必着  
講習日 : 2019 年 12 月 5 日 (木) 9 時 50 分～18 時 45 分  
2019 年 12 月 6 日 (金) 9 時 30 分～17 時

**会場** 五反田文化会館第 1 会議室 (〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-32-2, 交通 : 五反田駅 (JR 山手線, 地下鉄都営浅草線, 東急池上線) 徒歩 3～4 分)

**対象者** 化学分析実務を担当している技術者で、下記の試料の分析が可能であること。

**目的** 分析技能の向上と分析試験所認定へ向けての個人の技能の確認と技術の修得等の教育・訓練。

**測定試料** 鉄鋼試料

**分析項目** 鉄鋼中 Mn, Si, P, Ni, Cr, Cu などの成分, 用いる分析方法は吸光光度分析法 (1 元素以上必須), 原子吸光分析法, ICP 発光分光分析法など。

**募集定員** 50 名。定員に達ししだい締め切ります。

**受講料** 日本分析化学会・日本鉄鋼協会会員 (含団体会員) 51,000 円, 会員外 76,000 円。

講義のみ受講の場合は, 会員 36,000 円, 会員外 51,000 円

**講習の方法** 受講申込をされた方には, 10 月 1 日 (予定) に測定試料 (未知試料) を発送します (実技試験受講者のみ)。試料を受け取ったら, 自分のところで通常行っている分析方法で分析し, データと分析方法を 10 月 31 日までに実行委員会に提出します。講習日に金属試料の前処理法及び各種分析法について分析上の問題点, 注意事項及びノウハウ等について講義します。また, 第 1 日目の講義終了後, 講師を囲んで技術交流会を行います。第 2 日目には, 上記分析結果の統計解析による評価, 討論及び関連する分析化学の基本的な知識についての筆記試験 (実技試験受講者のみ) を行います。

**判定** 上記の講義のみの受講者には受講証を, 又, 実技・筆記試験合格者には「金属分析技術」に関する実務者レベルの修了証書を日本分析化学会から発行します。筆記試験に合格できなかった受講者には追試の機会も考えております。本修了証書は, セミナー参加者の所属機関が試験所認定を受ける際に, 金属分析に関する技術的教育を受けたことの実績として評価することが試験所認定機関と本会との間で合意されております。なお, 受講証, 修了証書は講習終了後に郵送します。

## 講習内容

### 第1日 {9.50~18.45}

1. 挨拶 (9.50~10.00) (実行委員長・Yoshikawa Sci. Lab.) 吉川 裕泰
2. 鉄鋼試料の前処理法 (10.00~11.10) (日本製鉄) 相本 道宏
3. 非鉄試料の前処理法 (11.20~12.30) (物材機構) 川田 哲
4. 分離・濃縮法の基礎 (13.20~14.20) (山梨大教育人間) 山根 兵
5. 重量法, 容量法, 吸光光度法 (14.30~15.40) (日鉄テクノ) 木戸 直範
6. ICP 質量分析法 (15.50~17.00) (JFE テクノ) 藤本 京子
7. 技術交流会 (17.10~18.45)

### 第2日 {9.30~17.00}

1. 金属ガス分析法 (9.30~10.10) (Yoshikawa Sci. Lab.) 吉川 裕泰
2. ICP 発光分光分析法 (10.20~11.30) (コベルコ科研) 磯尾 賢太郎
3. 原子吸光分析法 (12.30~13.40) (東北大金研) 中山 健一
4. 機器分析法 (発光分析法, 蛍光 X 線分析法) (13.50~14.50) (大同分析リサーチ) 儀賀 義勝
5. 技能評価, 質疑応答 (15.00~15.50) (Yoshikawa Sci. Lab.) 吉川 裕泰
6. 筆記試験 (16.00~17.00)

※ 講義内容及び講師は予定です。

**受講申込方法** 日本分析化学会ホームページの「Navigation」→「講習会・セミナー」→「金属分析技術セミナー」ページにある「受講申込用紙」をダウンロードしてください。以下の項目をご記入のうえ、E-mail に添付してお申し込みください。(1) 「第20回金属分析技術セミナー」と題記, (2) 受講者氏名, (3) ふりがな, (4) 年齢, (5) 勤務先, (6) 勤務先(連絡先)住所(郵便番号, 所在地, 所属, 電話・FAX 番号, E-mail), (7) 会員区分(会員又は会員外, 本会会員は会員番号を明記), (8) 受講区分の選択, (11) 受講料金額を明記のうえお送りください。(9)・(10)・(12)は記入不要です。会場地図等は会期の一週間前頃にお送りします。なお、電話での申し込みは受け付けません。

**送金方法** 受講申込をいただきますと、受領通知とともに請求書を送りますので指定口座に受講料をお振り込みください。振込手数料は貴方でご負担ください。なお、受講料の返金はいたしませんのであらかじめご了承ください。

**申込・問合せ先** 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号 日本分析化学会金属分析技術セミナー係 [電話: 03-3490-3351, FAX: 03-3490-3572, E-mail: koms@jsac.or.jp]